

### 3. 計画の策定体制と経過

#### (1) 策定体制はどうしたの？

本計画づくりにあたっては、行政主導ではなく、市民が主役の市民の声を反映させた計画づくりをキーワードに健康評価度測定アンケート調査や、市民への一般公募や各種団体からの代表者で構成するグループで出た意見をベースに、地域保健医療福祉推進委員会委員20名と臨時委員4名（グループワーク代表）による「策定委員会」の参画をえて計画を策定しました。

平成17年度から18年度にかけて、グループワークや策定委員会を開催し、積極的に意見を交換し討議を重ねました。

#### (2) 策定までの経過について

##### ① 策定委員会開催実施状況

委員は、地域保健医療福祉推進委員20名と臨時委員4名（各グループワークの代表者）で構成されました。

開催日程は平成17～18年度で策定委員会を5回開催しました。

##### ② グループワーク開催実施状況

メンバーは一般公募者及び各種団体からの代表で構成されました。

##### 開催日時


平成17年度は31名によるメンバーで 全体会—2回並びに4グループに分かれてそれぞれ別日に12回討議をし計14回開催しました。

総合計画の基本理念やそれを達成するための方針に沿って、市民の“健康”の視点から健康づくりに取り組もうとグループワークを通して市民の生の声を聞きました。

##### 内容

（総論）みんなで育てる「健康なまちづくり」をつくるため

●目指す姿（暮らしのあるべき姿）を考え、大別して下記の意見が出ました。

- 
- ① 地域・家族・友人などとの交流を大切にする
  - ② 自分らしく自立した生活を送りたい
  - ③ 明るく穏やかな生活を送りたい

そのためにはどんなことが必要なのでしょうか？

●健康の姿

- ① ストレスをためない生活をしたい
- ② 自分にあった運動をする
- ③ 食生活に気をつける
- ④ 健康管理の意識をもつ
- ⑤ 環境・地域のあり方を整える